

岡山の大学へ行こう!

vol ① 地元大学の魅力

将来の夢を実現するためには、自分の力を大きく伸ばしてくれる大学を選ぶことが大切です。岡山県内には地元進学のための経済的メリットを生かせる個性豊かな大学がそろい、充実したカリキュラムと施設を備えています。「岡山の大学へ行こう!」3回シリーズの第1回は、特色ある学部・学科、大学独自の取り組みなど県内14大学の魅力を紹介します。

川崎医療福祉大学・川崎医療短期大学



学生間で居場所づくりの企画、立案そして振り返り風景(2016年6月)

地域と共に育む医療福祉人

川崎医療福祉大学・川崎医療短期大学は、医療福祉人の育成を目的とする大学です。そこで学ぶ学生たちが「さまざまな状況にある子どもたちの居場所をつくりたい」と、実習での経験と思いを地域の方々に話したことがきっかけとなり始まった活動があります。

学生が「子どもの貧困」の解決を目指す

医療福祉学科・直島克樹 講師の研究室でソーシャルワーカーを目指す学生を中心とし、倉敷地域の福祉的課題を住民と共に探り、解決に向けた動きを生み出す協働関係を築いていました。地域の方々の支援を受け、子どもたちの居場所を開き、主に夕方から夜にかけて、学生と子どもたちが食事、学習や遊びを共にする活動が始まりました。現在6年目で、40人以上の学科を超えた学生たちが関わるプロジェクトに成長しています。

この居場所の運営は、本学卒業生(紀奈那さん)が在学中に立ち上げた(一社)「子どもソーシャルワークセンター」が担っています。一方、県内でも広がっている「子ども食堂(フード&ライフドライブ)」は、新型コロナウイルス感染症による社会変化の影響を受けている子育て家庭の支援に地域と共に取り組んでいます。子どもの貧困とは、経済的なことだけでなく、自分だけではどうしようもないさまざまな困り事の総称。学生たちは、地域と力を合わせ、解決のために協働していく重要性を学びながら、未来の医療福祉人を目指します。



「フード&ライフドライブ」で子育て家庭を地域と共に応援

〒701-0193 倉敷市松島288
川崎学園
アドミッションセンター ☎ (086) 464-1064

Open Campus Schedule 2020

本特集に掲載している開催情報は今後、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から変更となる可能性があります。詳しくは各大学のホームページをご確認ください。

川崎医療福祉大学・川崎医療短期大学

川崎学園アドミッションセンター ☎ (086) 464-1064

WEB OPEN CAMPUS 公開中

8月22日(土)・23日(日) △医療短大のみ。
10月17日(土)・18日(日) ☆医福大のみ。

